次期愛知県観光振興基本計画(仮称)検討委員会 第1回魅力向上·受入れ部会 次第

日時:2020年6月18日(木)10:00~12:00

会場:愛知県自治センターE会議室

- 1 開 会
- 2 議事
- (1)新型コロナウイルス感染症を受けた、県の国内観光需要回復施策について
- (2) あいちの「ツウ」な魅力について
- (3) 次期愛知県観光振興基本計画(仮称)の骨子(案)
- 3 その他
- 4 閉 会

(配布資料)

- ・ <u>資料1</u>新型コロナウイルス感染症を受けた、県の国内観光需要回復 施策について
- ・ 資料2 あいちの「ツウ」な魅力について
- ・ 資料 3 次期愛知県観光振興基本計画(仮称)の骨子(案)

(次回)

- ・魅力向上・受入れ部会:8月25日(火)10:00~12:00
- ・PR・プロモーション部会:8月26日(水)15:00~17:00

次期愛知県観光振興基本計画(仮称)検討委員会 第1回魅力向上・受入れ部会 出席者名簿

●委 員

所属・職	氏名
株式会社カーネルコンセプト コンテンツ企画室執行役員室長 中部圏インバウンドセールスプロジェクト 事務局長	赤崎 真紀子
国立大学法人和歌山大学 経済学部 教授	大澤健
株式会社リクルートライフスタイル じゃらんリサーチセンター長	沢登 次彦
西川流四世家元	西川 千雅
名城大学 外国語学部 教授	二神 真美

●オブザーバー

所	「属・職			氏名	
_	一般社団法人	愛知県観光協会	専務理事	榊原	仁

●事務局(愛知県観光コンベンション局)

所属・職	氏名
観光振興課 課長	小島 馨
観光振興課 担当課長	多田 花緒里
国際観光コンベンション課 課長	川義満
国際観光コンベンション課 担当課長	杉本 安信

次期愛知県観光振興基本計画(仮称)検討委員会 第1回魅力向上・受入れ部会 配席図

2020年6月18日(木)10:00~12:00 愛知県自治センターE会議室

西川委員	大澤部会長	スクリーン (沢登委員)	赤崎委員	オが原 ーバー /
事務局(機材)	国際観光コッ 担杉 当本 課 長	ハ [*] ンション課 観 光 川 小 課 島 長 課	振興課担多当田課長	
国際観光コンハ * ンシ 和	対課	光 安藤課長補佐 田課長補佐	国際 国際 伊藤 課長補佐	示場室 秋 田 課 長 補 佐
傍聴席	記者席	記者席	房聴席	傍聴席
:	:	:	:	:

新型コロナウイルス感染症を受けた 県の国内観光需要回復施策について

県では、 当初予算に加えて、 補正予算を計上して、 国内観光需要の回復を図ります。

当初予算



6月補正予算*

4.3億

*6月定例議会で可決の場合

当初予算で予定していた事業のうち、7 事業について、今回の感染症の拡大を受け、内容を見直して実施します。

まずは県内、 続いて県外の需要を回復させます。

第1フェーズ:

まずは、県民による県内旅行を呼びかけ

第2フェーズ:

県外からの誘客を強化 (国のGo To効果を愛知県に取り込み)

第3フェーズ:海外からの誘客を強化

第1フェーズ まずは、県民による県内旅行 を喚起し需要を回復

クリエイティブを工夫し、 穏やかなテイクオフを呼びかけ

PR

様々なメディアで、県民に県内旅行を呼びかけ



周遊 促進 様々な仕掛けで、県民の県内周遊を促進



第2フェーズ 県外からの誘客を強化 Go To 効果を愛知県に呼び込む

- □ 愛知・名古屋観光誘客協議会で実施予定だった、札幌・仙台・東京・大阪・福岡での旅行会社向け観光商談会や個別セールスを実施し、各地の旅行業者に、国の Go To キャンペーンの助成金を活用して、愛知県行きツアーを造成・販売するよう呼びかけ。
 - ※感染症の状況、移動に対する自粛要請の有無などを勘案しながら実施を判断。

付加施策① 地域が実施する 観光誘客イベント等を委託

事業名 観光誘客地域活動事業費

事業内容 新型コロナウイルス感染症によりダメージを受けた観光関連産業の

再起を支援するため、観光振興を担う団体(市町村観光協会・広域

観光協議会・広域観光協会・商工会・商工会議所)に対し、パンフレットやウェブサイトの制作、県内外の主要駅でのイベント、域内

周遊スタンプラリー等を委託します。

実施方法 公募を実施し、優秀な提案に対し、委託料を支払います。

付加施策② 通販サイトを活用した 観光物産品・農林水産物等の 販売促進

事業内容 新型コロナウイルス感染症の影響により、売上が減少してい

る観光関連産業や農林水産業を支援するため、通販サイトを

活用した観光物産品や農林水産物等の販売促進を行う。

実施方法 認知度が高い通販サイトに「仮想店舗」を出店し、販売。

販売商品 愛知県の観光物産品、農林水産物(加工品含む。)

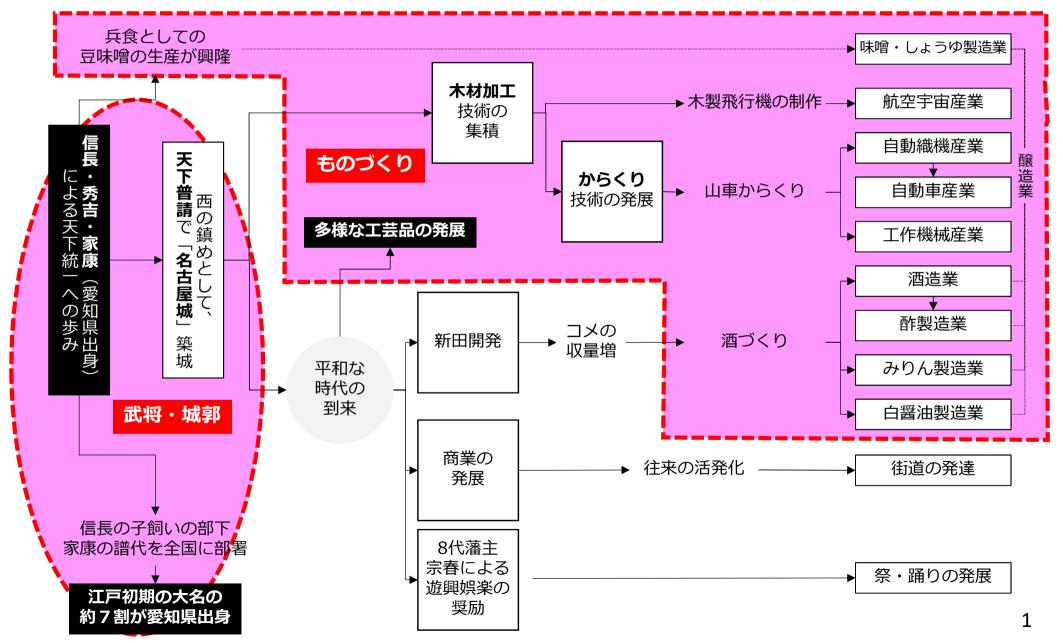
サイト運営期間 6か月間

キャンペーン期間 サイト運営開始後3か月間

販促の取組み 商品価格の割引や送料無料等を実施予定

あいちの「ツウ」な魅力について

1. 愛知県の観光資源の成り立ち



2. 愛知・名古屋観光誘客協議会による旅行業者への提案方法



3. 愛知・名古屋観光誘客協議会が設定した、20の「ツウ」なテーマ



秋のイチョウ、紅葉から、早春の梅、そして桜へと――。 10月から翌3月にかけて、様々な季節の彩が目を楽しませてくれます。 寒さもひとしおのシーズンだけに、 ぜひ、温かな温泉地でお泊りください。



信長・秀吉・家康を生んだ愛知県。 彼らの子飼いや譜代の者が全国各地に配置されました。 だから、江戸初期の大名のおよそ7月が愛知県出身とも。 特定の武将ゆかりの地めぐりも、時代順に巡る古戦場跡めぐりも、 あいちなら、ユニークな歴史ファン向けツアーを作れます。



古くから交通の要衝だった愛知県。 東海道はもとより、信州へと通じる飯田街道、 中山道と伊勢方面をショートカットできた下街道など、 タの街道が県内を行き交っていました。 ところによっては、古いまちなみも残っています。



意外と知られていませんが、日本一、寺社が多いのは愛知県。 三種の神器のひとつ「草薙剣」を祀る熱田神宮をはじめ、 日本新四国のひとつである「知多四国」、 撮影スポットやパワースポットとして人気のところなど、多彩。 人気の御朱印巡りもおすすめです。



日本遺産「日本六古窯」にも含まれる、瀬戸と常滑は愛知県。 陶芸体験はもちろん、

それぞれにノスタルジックな町並みを歩くガイドツアーも人気。 また、日本三大瓦のひとつ「三州瓦」関連スポットもあります。 各地で開催される大規模なやきものイベントもファン必見です。



ふるくからものづくりが盛んで、豊かでもあった愛知県には、 伝統工芸やお祭りなど、伝統文化が息づいています。 県内に5つのユネスコ無形文化遺産がある山車・祭や、 山深い地に伝わる神楽など、見どころ満載。 絞りや和紙、七宝焼など、伝統工芸の体験メニューも必見です。



あいちには、のりもの好きにたまならいスポットがたくさん。 自動車や鉄道、航空機に関連したミュージアムはもちろん、 日本で唯一営業運転しているリニア、 鉄道とバスのデュアル・モード・ビークル、 日本で唯一の地下鉄環状線など、見どころが目白押しです。



愛知県が実施し首都圏・関西圏在住者へのアンケートで、 あいちへの観光で最も満足度が高かったのがグルメ。 なごやめしや豊橋カレーうどん、豊川いなり寿司などの ご当地グルメを召し上がっていただくのはもちろんですが、 体験や見学、お買い物ができるスポットにも注目です。



味噌や醤油、たまりをはじめ、酢、みりん、白だしなど、 豊富な醸造食品があいちのご当地グルメを支えています。 県内には、見学できる「醸造・うまみ」関連スポットも多いので、 食べることはもちろん、その奥深い歴史やこだわりにも触れてください。



濃尾平野と木曽川、岡崎平野と矢作川、豊川平野と豊川…。 コメと水に恵まれた愛知県は、実は酒どころでもあります。 県内には40を超える酒蔵があり、見学できるところも。 また、戦前、大手メーカーと伍していたビールの復刻商品など、 ビール党にも注目のスポットがあります。



愛知県が臨む伊勢湾・三河湾には、 木曽川・矢作川・豊川から豊富な栄養がもたらされ、 豊かな漁場が形成されています。 アカムツ (ノドグロ) やアカザエビなどの高級食材から、 アサリ、クルマエビまでバラエティ豊か。養鰻業も盛んです。



製造品出荷額等が40年以上に渡り全国1位の愛知県は、 実は、農業産出高全国8位の農業県でもあります。 特に田原市は、市町村別で全国第1位。 田原市をはじめ、県内各地で体験プログラムが提供されています。



実は、全国有数のお茶どころである愛知県。 てん茶(抹茶の原料)生産量は全国トップクラスで、 「西尾の抹茶」は有名です。 また、生産だけでなく、海部地域を中心に広がる「野良茶」など、 お茶を飲む文化も根付き、現在の喫茶店文化につながります。



実は、愛知県は花き生産量全国1位という、 「花の王国」でもあります。 産出額全国1位の菊やバラなどは、見学・体験できるスポットも。 また、豊明市にある「愛知豊明花き地方卸売市場」は、 世界でも有数の花き専門市場で、ここも見学可能です。



東栄町は、ファンデーションの原料である、 セリサイトの日本唯一の産地で、 現地では、ファンデーション作り体験や鉱山見学が可能です。 他にもある「美」関連するスポットで、より美しくなってください。



博物館・博物館相当施設数が全国8位の愛知県。 尾張徳川家の遺愛品などを収蔵する美術館や、 画家・作家にフィーチャーした美術館など、 特色ある施設がたくさんあります。



人口754万人、全国4位の愛知県は、意外にも自然も豊か。 海・山・川で、いろいろなアクティビティを楽しめます。 豊かな自然をぜひ満喫してください。



愛知県の有人離島は、篠島・日間賀島・佐久島の3つ。 それぞれに個性豊かで、島好きにはたまりません。 本土とは異なる、ゆったりした時間をお過ごしください。



あいちには、どうぶつ好きにはたまらないスポットも。 ただ見学するだけでなく、 学べたり、ふれあえたりする施設が多く、 一日たっぷり楽しめます。



都会的な夜景、工場夜景だけでなく、 イルミネーションや星空まで、魅力的な夜間プログラムも人気です。 まちなかから郊外、山村まで、 その土地ならではのナイトタイムをお楽しみください。

4. 「ツウ」なテーマに沿った着地型観光プログラムの例

(1)「武将・城郭」の例



(3)「神社・仏閣」の例



20テーマ・159プランを提案中

(2) 「旧街道・古いまちなみ」の例



(4) 「お花」の例



次期愛知県観光振興基本計画の骨子(案)

計画の位置づけ

計画の性格

①愛知県観光振興基本条例に基づく観光振興に関する基本的な計画

②「次期あいちビジョン」の個別計画と位置づけ、観光振興分野の具体的な施策を提示

赤文字=従前案からの変更箇所

県内の観光関連産業の振興を図ることを目的として、旅行者の受入れの主役は、地域と事業者であるという認識のもと、具体的な施策をまとめた アクション・プログラムとする。

計画期間

2021年度~2023年度(3年間) *2040年頃までを展望し、2023年度までに取り組む施策の方向性と主な施策を示す。

あいちの観光を 取り巻く状況

社会経済情勢の展望

- ◆ 人口減少の進行・人生100年時代の到来
- ◆ 第4次産業革命の進展
- ◆ ライフスタイルの多様化
- ◆ スーパー・メガリージョンの形成
- ◆ 世界経済の多極化、SDGsの理念の定着
- ◆ グローバル化の進展とそれに伴う感染症リスクの拡大

愛知県の観光を取り巻く大型プロジェクト

- ◆ 2021年 東京オリンピック・パラリンピック開催
- ◆ 2022年秋 ジブリパーク開業
- ◆ 2026年 第20回アジア競技大会(2026/愛知・名古屋)開催
- ◆ 2027年度 リニア中央新幹線(品川~名古屋)開業
- ◆ 2037年以降 リニア中央新幹線全線開業

観光の量的・質的変化

- ◆ インバウンド誘致の地域間競争の激化
- ◆ 「モノ」から「コト」へ、さらに「トキ」と「感動」を重視した旅行へ
- ◆ 旅マエ・旅ナカ・旅アトのすべてのフェーズでデジタルが台頭
- ◆ 感染症に対応した旅行スタイルの確立と適応

現行計画の評価・課題

- ◆ 「あいち観光元年」宣言により、県内各地で観光への取組みが加速
- ◆ 来県者数は増加、観光消費額は伸び悩み
- ◆ 大型プロジェクトの進展
- ◆ 新型コロナウイルス感染症による需要急減からの回復が課題

基本的な視点

独自の魅力・強みの強化

- ◆ 愛知ならではの資源の発掘・ 磨き上げと高付加価値化
- ◆ジブリパーク開業効果の活用

EBPM(*)の実施とデジタルの活用

- ◆エビデンスに基づく施策立案
- ◆ ターゲットの設定
- ◆情報発信、調査、効果測定等、 様々な場面でデジタルを活用
- * Evidence-based Policy Making:エビデンス に基づく政策立案

観光・交流拠点としての機能強化

- ◆広域連携の強化
- ◆ 移動手段の効果的な運用と情報発信
- ◆人材の育成・確保

With コロナへの適応

- ◆観光における感染拡大防止の 取組強化と需要の回復
- ◆新しい旅行スタイルへの転換
- ◆ 公衆衛生情報の正確な発信

目指すべき姿

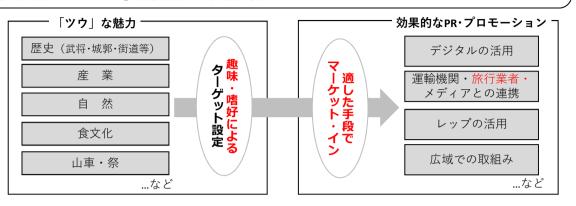
~"Heart" of JAPAN セカンドステージ~ あいち「ツウ」リズムの推進で独自の強みを発揮する「観光県 |

①地域資源の発掘・磨き上げとテーマに沿った連携を促進することで、旅行者に感動を与えられる「ツウ」な魅力を高める。 ②あいちならではの「ツウ」な魅力を、デジタル等を活用し、世界中にいるそれぞれの関心層に届ける。 ③「ツウ」な魅力をフックにして、周遊促進や宿泊誘導を図り、関連産業の活性化につなげる。

施策の展開領域と 主な柱

愛知県ならではの「ツウ」な魅力向上と、効果的なPR・プロモーション

- ◆ 愛知の歴史・産業・自然・文 化等に根差した地域資源の発 掘・磨き上げと連携による 「ツウ」な魅力の向上
- ◆ エリアや性別・年齢等だけで はなく、趣味・嗜好でター ゲットを設定
- ◆ PR・プロモーションは、エビ デンスに基づいて手段を選択 し、効果を最大化



MICEを核とした国際観光都市の実現

- ◆ MICEを活用した都市・地域のブランド化、 地域経済の活性化
- ◆国内外からヒト・モノ・カネ・情報を呼 び込み拠点の形成

国際会議・展示会の開催・誘致

イベントの誘致・開催

インセンティブツアーの誘致

スポーツ大会の誘致・開催

持続可能な受入れ体制・機能の整備・充実

- ◆ SDGsの理念に沿った持続可能な観光の推進
- ◆ 旅行者の利便性・安全性の向上

モビリティ・マネジメント

ユニバーサルツーリズム推進

多様な宿泊ニーズへの対応

コミュニケーション円滑化

多様な宗教・生活習慣への対応

旅行者の安心・安全

、 観光イノベーションの<mark>創出</mark>、人材育成・確保

- ◆ 新たなサービス・コンテンツの創造・導入
- ◆観光を支える人材の育成・確保

多様な企業・産業の巻き込み

学びの場の提供

産学官連携の推進

アワードの実施

新しい観光の推進

関係者間の交流促進

K P I

① 地域資源の発掘・磨き上げとテーマに沿った連携を 促進することで、旅行者に感動を与えられる「ツ ウ」な魅力を高める。

【定量的指標】

「歴史|関連施設等利用者数

「産業 | 関連施設等利用者数

「自然 | 関連施設等利用者数

「食文化」関連施設等利用者数

「山車・祭 |関連施設等利用者数

【定性的指標】

満足度 (国内客·海外客)

推奨意向 (国内客·海外客)

再訪意向 (国内客・海外客) ② あいちならではの「ツウ」 な魅力を、デジタル等を活 用し、世界中にいるそれぞ れの関心層に届ける。

> 公式観光サイトPV数 (言語別)

公式観光SNSファン数 (媒体・言語別)

KGI

③ 「ツウ」な魅力をフックにして、周遊促進 や宿泊誘導を図り、関連産業の活性化につ なげる。

観光消費額 (国内客・海外客)

観光消費単価 (国内客・海外客)

観光入込者数 (国内客・海外客)

来県者数 (国内客・海外客)

延べ宿泊客数(国内客・海外客)

滞在日数 (国内客・海外客)

国際会議開催件数

評価指標